

専門分野Ⅰ 基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	基礎看護方法Ⅰ 1単位 30時間		
開講時期	1年次 前期		
担当教員	増田恵美子	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>看護における技術の意義は、「行為を可能にする原理」であり、実践につながるものである。社会に役立つ看護の専門職業人になるために必要な技能・技術を身に付けるにあたり、基本となる理念を確認する。そして、看護に共通する基本技術を学ぶ前に、看護技術学習の3要素①技術提供の前提となる倫理や道德などの人間性のあり方に至る態度や行為、②看護独自の考え方や展開方法③知識と経験の裏付けに基づき看護の対象に提供される科学的看護実践の手順を学ぶ。まずは看護援助を具現化するための「知の枠組み」として「看護の基本的機能」である「環境調整」「コミュニケーション」「ボディメカニクス」「倫理」「安全・安楽」といった理念を学習する。これを土台として、基礎看護方法Ⅳ～Ⅵで具体的な日常生活援助項目を学ぶまでに、自己の演習体験を言語化できるよう導いておく。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 看護技術とは何か 1) 看護技術を学ぶにあたって 2) 技術とは何か 3) 看護技術の特徴・範囲 4) 看護の基本的機能と日常生活援助項目との関係	講義	
2回目	1. 看護の基本的機能 1) 環境調整 (1) 快適な環境とは (2) 環境調整のための3つの視点 (物理的、人的、管理・教育的) (3) 人間-環境系の視点 (4) 環境調整に関するエビデンス	講義	
3回目	1. 看護の基本的機能 2) ボディメカニクス (1) ボディメカニクスとは (2) 姿勢と動作 (3) ボディメカニクスを考える際の力学的基盤	講義	
4回目	1. 看護の基本的機能 3) 安全・安楽 (1) 看護援助における安全・安楽 (2) 標準予防策・手洗い	演習	
5回目	1. 看護の基本的機能 3) 安全・安楽 (1) ヒューマンエラーと安全 (2) 医療事故と予防策	講義	
6回目	1. 看護の基本的機能 3) 安全・安楽 (1) 事例検討	グループワーク	
7回目	1. 看護の基本的機能 4) コミュニケーション (1) コミュニケーションとは (2) コミュニケーションの種類 (3) 援助関係に必要なコミュニケーションの要素	講義	
8回目	1. 看護の基本的機能 4) コミュニケーション (1) 場面と状況を設定したコミュニケーションの体験	演習	
9回目	1. 看護の基本的機能 4) コミュニケーション (1) プロセスレコード	講義	
10回目	1. 看護の基本的機能 4) コミュニケーション (1) プロセスレコード	課題提出 グループワーク	
11回目	1. 看護の基本的機能 5) 倫理 (1) 看護援助における倫理 (2) 患者の権利と倫理原則	講義	
12回目	1. 看護の基本的機能 5) 倫理 (1) 事例検討 (倫理的思考と行動)	課題提出 ディベート	
13回目	1. 指導技術 (1) 個人を対象とした教育・指導	講義	

14 回目	1. 指導技術 (1) 集団を対象とした教育・指導	発表会
15 回目	終了試験	筆記試験
評価方法	筆記試験 80% 課題提出 20% (プロセスレコード・事例に対する意見と分析)	
受講生に対するメッセージ	基礎看護方法Ⅰは看護概論を受け、基礎看護方法Ⅱ～Ⅶの技術を実践する際の前提となるすべての看護技術に共通する留意点について学ぶ授業である。今まで意識せず実践していた日常の動作・出来事を意識化し振り返る思考を作って欲しい。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護学技術Ⅰ 医学書院	
参考書	演習を通して伝えたい 看護援助の基礎のキソ 医学書院	